

平成 2 1 年度再評価対象事業一覧表 (事業採択後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果 の要因の変化	コスト削減や代替案 等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業継続)	備考
10	地域活力基盤創造交付金事業 主要地方道 肥前呼子線 事業主体：県 事業地：玄海町犬吠	本路線は、唐津市肥前町の国道204号と唐津市呼子町の国道204号を結ぶ幹線的な道路であり、原発災害時の緊急避難路に指定されている。 また、玄海町中心部から唐津市中心部、及び唐津市鎮西町、呼子町方面を結び、観光等の交流の促進、地域産業の効率化、活性化に寄与する重要な道路である。 付近には小中学校や町役場があるにもかかわらず、幅員は狭く歩道もないため、自動車交通に支障を来しており、通学時においても非常に危険な状況となっている。 以上のことから、バイパス(歩道を含む)の整備により交通の円滑化と交通安全の確保を図る。	全体事業費：14.9億円 工期：H12～H25 事業内容 延長 L=1,500m 幅員 W=10.0(6.0)m 改良工 L=1,500m 舗装工 L=1,500m 測試 1式 用地補償 1式	H20末進捗率：約40% (事業費ベース) (年平均進捗率 4%) 用地補償は9割完了	・交通量の推移 H9 1,472台/日(基準) H11 1,563台/日(1.06) H17 1,245台/日(0.85) プルサーマル導入が平成18年3月に決定されたため、原発避難路としての整備が急がれる。	事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。 B/C = 1.2	(コスト削減) ・再生資材の利用促進を図っている。 ・工事で発生する残土を盛土等に流用する。 (代替案の検討) ・特になし	着手より10年経過のため再評価	継続 (理由) 事業の必要性に変化が無い。 現在も、依然として交通の円滑化と交通安全の確保が出来ていないことから、引き続き事業を継続したい。	

